

みんなでつくろう！みんなのまち

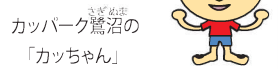
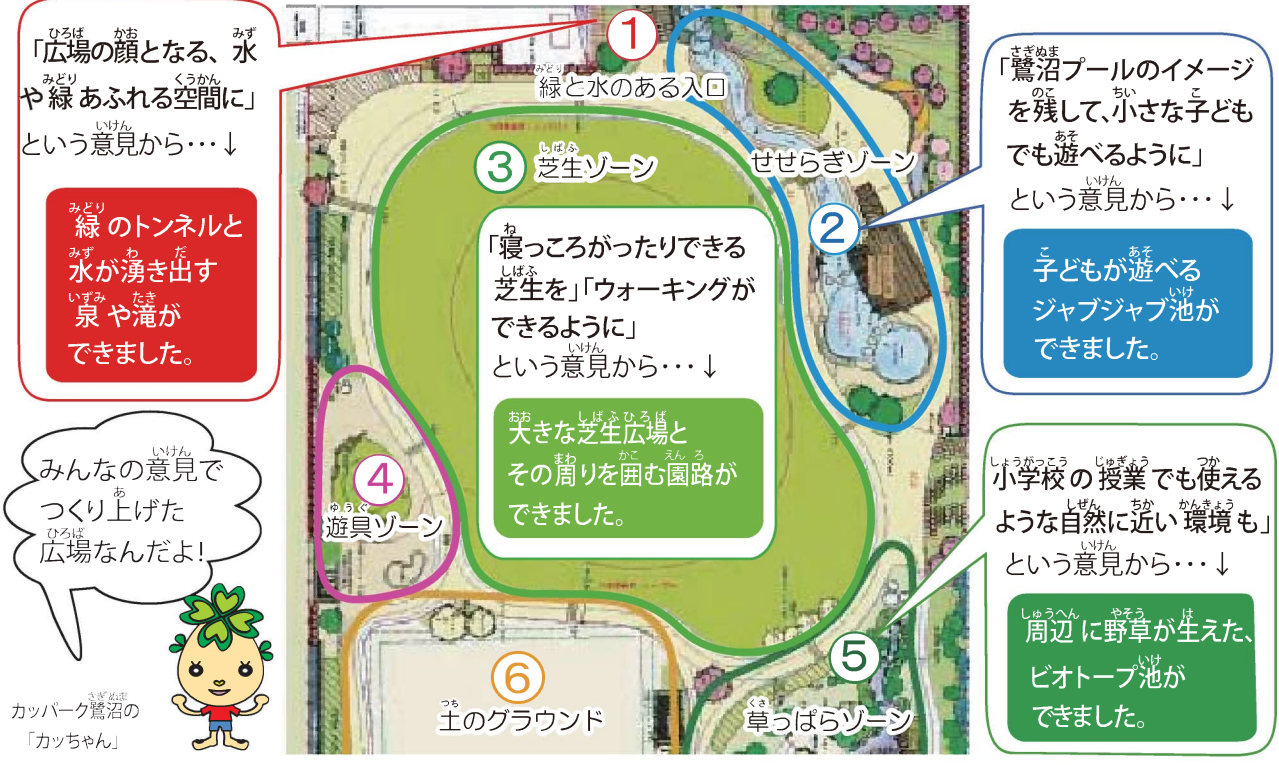
なまえ きめま さまぬま ひろば 名前もみんなで決めました ～鷺沼ふれあい広場～

2006年(平成18年)4月、鷺沼プールが、土橋小学校、鷺沼ふれあい広場、フットサル施設「フロンタウンさぎぬま」、さぎ沼なごみ保育園に生まれ変わりました。



その1つ、鷺沼ふれあい広場は、利用する人みんなに親しまれるような広場にするために、市民のみなさんと川崎市が一緒になって考えました。「鷺沼ふれあい広場」という名前も、市民のみなさんから募集して、みんなの憩いの場となることを願って決められた名前です。

まちづくり事例だよ！



●どんなふうに決めていくのかな？

広場づくりに関心を持った市民のみなさんが集まって委員会をつくり、広場づくりが始まりました。広場を4つに分け、グループごとに現地を調査したり、アイデアを出し合って、広場づくりの基本的な考え方を決めたりしました。次に、意見交換の場をつくり、いろいろな人たちの意見も聞きながら、内容を修正し、最終的な考え方をまとめました。そして、川崎市は市民のみなさんの意見を取り入れて、驚愕ふれあい広場をつくり、完成させました。

花壇づくりから始めよう！～宮前ガーデニング倶楽部～

「花いっぱいのできれいなまちにしたい。つながりを広げてみんなが暮らしやすいまちにしたい。」3人の区民が、その願いを実現するために、活動を始めました。

まず取りかかったのは、宮前平駅から宮前区役所に向かう長い坂の途中にある、ポケットパークに花を植える花壇づくりです。花壇づくりをしていると「きれいになりましたね。ありがとう。」と声をかけられるようにな



ポケットパークでの花壇づくり



青空教室

り、だんだんと道具を貸してくれる人や、仲間に入る人も増え、活動の輪が広がっていきました。今ではたくさん仲間が、一人一人、知恵を出し合い、話し合い、様々な人たちの協力を受けながら、区内の花壇を管理しています。小学校の総合的な学習の時間で植物とふれあったりする、青空教室なども行っています。

トピックス

自分たちのまちは自分たちで守ろう！

～市民活動団体「野川はあも」の取り組み～



「森を守りたい」という、思いを持った近隣の区民が、自分たちでやれることは自分たちでやろうと、結成しました。

自然に生えているキノコを探したり、落ちていた枝などを使って歩道と雑木林を分ける柵を作ったりするなど、身近にある自然の面白さを再発見するプログラムを行っています。

まちづくり事例だよ！